

名田島自治連合会 地域づくり交付金事業概要(令和7年度)

■地域の情報

地域人口	1,045人	自治会数	13
世帯数	449世帯	自治会加入率	90.7%

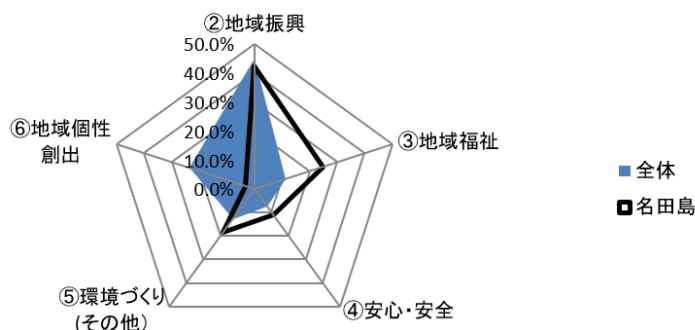
※数値は、令和8年4月1日のもの

■決算状況

交付金配分枠	8,019,000 円
交付金決算額	8,019,000 円
その他収入	58,931 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,160,395 円
②地域振興	887,910 円
③地域福祉	519,959 円
④安心・安全	229,100 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,832,000 円
⑤環境づくり(その他)	381,176 円
⑥地域個性創出	67,391 円
決算総額	8,077,931 円



■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民及び各種団体が連携・協力して、第4次名田島地区協働まちづくり計画を推進します。

■総括

本年度2年目を迎えた「第4次名田島地区協働のまちづくり計画」は、第3次計画の活動目標と活動内容を大幅に見直し、さらに住民アンケートも実施して地域課題を再確認の上、具体的な活動内容は喫緊の課題を中心に取り上げて精選して作成したものである。令和7年度は、昨年度からの継続事業を中心に実施したほか、市の定住促進事業の推進にも協力した。夏以降に開催した「名田島ちようちんちょこつとまつり」と「ふるさとまつり」も地区外から予想を超える多くの参加者を得ることができた。また、交流人口の増加を目的に実施したフットパス「向山コース」イベントには、名田島地区外から定員を上回る応募があった。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費(事務局長:1名 事務員:2名)
② 地域振興	一集落一事業、広報活動、イベント補助、第4次計画推進費
③ 地域福祉	健康増進活動補助、世代間交流、子ども健全育成事業補助
④ 安心・安全	地域防災活動の促進 交通安全対策
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、地域環境づくり、地域環境美化
⑥ 地域個性創出	ふるさと大学の開講 小学校芝生化グラウンド利用促進事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	名田島のPR事業	決算額	397,493円
	目的	地域づくり活動、「第4次名田島地区協働のまちづくり計画」の進捗状況等、適時広報する。		
	実施内容	①総会資料 ②広報紙「田園」 ③「自治会連合会だより」による会議等の結果報告 ④ホームページの拡充・フェイスブックの定期的な更新 ⑤iPadを活用して名田島の姿をPR		
	実施時期	①4月 ②年3回(8月、12月、3月) ③毎月1回 ④⑤随時		
	参加人数	地区内外多数		
	成果	①～③全世帯配付(約500戸) ④随時更新 ⑤随時使用		
	評価	①～③自治会連合会の活動状況を地区民に周知し情報共有に努めた。④⑤ホームページの拡充を図ると共に、フェイスブックにより地域のイベントや映えスポットをリアルタイムに発信し閲覧者の拡大に努めた。		
	今後に向けて	更なる内容の充実に努め情報発信を図りたい。		
②	事業名	第4次計画推進事業	決算額	25,000円
	目的	名田島に新しい魅力を創出し地域の活性化を図り、地区内外の交流人口の増加を目指します。		
	実施内容	フットパス「向山コース」のイベント開催		
	実施時期	3月1日		
	参加人数	22人(欠席4人)、16人(スタッフ)		
	成果	好天に恵まれ、参加者から名田島の自然に触れる事が出来たと歓喜の声やぜひまた来たいという感想を多く聞くことが出来た。		
	評価	市報を活用しての参加者募集について、名田島以外の山口市民に呼びかけ26人の定員を超える希望者があった。		
	今後に向けて	令和8年度は、「新開作・昭和コース」新設に取り組む。		
③	事業名	健康増進活動事業	決算額	387,084円
	目的	地域内に居住する外出機会の少ない高齢者や独居老人等を対象として、自立生活の維持・継続及び生きがいと健康づくり活動を推進する。		
	実施内容	①健康相談会 ②健康チャレンジウォーキング ③地域版チャレンジデー2025 ④料理教室		
	実施時期	①5～3月 ②5月28日・12月5日 ③8月23日 ④3月4日		
	参加人数	①13集落 ②18人・18人 ③200人 ④9人		
	成果	①あらためて個人個人が健康について関心を持てた事に加え、集落住民同士のふれあいの場となった。②野外活動を通して、心身共にリフレッシュする機会となった。③地区民の年代を超えたふれあいの場となった。④食を通して健康管理の意識が生まれた。		
	評価	①各集落の自治会長・民生委員・福祉員等が連携して取り組んだ。②楽しい交流の場となり、鋭気を養う事ができた。③ラジオ体操を媒体に参加者全員の一体感につながった。④健康を維持するための食事の大切さを学ぶ事ができた。		
	今後に向けて	①②③④関係機関、団体と調整を図り、事業を継続し交流の場を提供していききたい。		